

授業科目区分	授業科目名	授業方法	単位	時間	関連の深い授業科目
専門	はりきゅう実技9	実技	2	60	はりきゅう実技、東洋医学概論、東洋医学臨床論、経絡経穴概論
学科・学年	担当教員名	科目関連実務経歴	実務経歴・分野・授業科目との関連等		
鍼灸学科 3学年	福岡 智美	■ 有 □ 無 日々の鍼灸臨床実務より、臨床場面での疾患鑑別、及び施術に伴う知識、技術を学びます。			
授 業 目 標 *詳細な目標は、授業の冒頭で提示					
◆教育目標 国家試験出題基準に基づく鍼灸臨床において遭遇する可能性の高い疾患について、診察・施術・生活指導を学ぶ。 ◆行動目標 1. 脈診・舌診・腹診・経穴診について、所見の違いを感じることができる。 2. 認知した所見が示唆する証と処方穴・補瀉手技を述べることができる。 3. 証に基づいた取穴と補瀉手技の施術ができる。 4. 現代医学的な病態把握について、面接所見に応じて必要な身体診察を抽出し、検査できる。 5. 身体診察所見から推測される病名を述べることができる。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など					
臨床で遭遇する事の多い疾患の鍼灸での治療方法を学んでいきます。 東洋医学的な治療が多いので東洋医学概論、経絡経穴概論、東洋学臨床論の内容の復習をしっかりと行ってから、授業に参加するようにしましょう。					
教科書・参考書					
教科書: 東洋療法学校協会「経絡経穴概論」、「東洋医学概論」、配布資料					
受講時留意点、その他					
【 全科目受講時共通事項 】※詳細は学生便覧受講における遵守事項参照 ●病気その他止むを得ない事由以外での欠席はしないこと。 ●授業開始5分前には所定教室で待機し、指定された席で授業を受講すること。 ●授業中は私語、および授業内容に関係のない行為は自粛すること。 ●授業中の電子機器の使用は禁止する。但し、担当教員から許可を得た場合はこの限りではない。 ●当番は授業前後の準備、整理を行うこと。教室、実習室の整理整頓、採光、換気、節電に努めること。 ※注意 授業開始時間後の入室は職員室にて「授業開始後入室における聴講申請書」を記入し、記入した用紙を担当講師に手渡して下さい。 授業の聴講は許可しますが、出席簿は「欠席」扱いとなります。(公共交通機関遅延により遅延証明書がある場合のみ出席とみなします)。 【 受講科目受講時留意点 】					
成績評価方法					
評価方法	評価割合 (%)	具体的な評価の方法、観点 など			
定期試験	50%	引いたカードに書かれた所見から証を立てて六十九難を取穴			
その他	50%	授業中の積極性、集中度合い(20%)と講師への無痛刺鍼が出来るか(30%)を通年でチェック合格が取れれば50%獲得とする			
(合計)	100				

回数	開講 予定日	テーマ、内容、キーワード 教科書、配布資料	授業日誌	開講日	担当教員 (備考)
1		オリエンテーション 実際の治療体系		/	福岡
2		東洋医学における四診 PC・プロジェクター		/	福岡
3		頭痛の治療		/	福岡
4		〃		/	福岡
5		肩こりの治療		/	福岡
6		〃		/	福岡
7		眼精疲労の治療		/	福岡
8		〃		/	福岡
9		鼻閉・鼻汁の治療		/	福岡
10		〃		/	福岡

回数	開講 予定日	テーマ、内容、キーワード 教科書、配布資料	授業日誌	開講日	担当教員 (備考)
11		食欲不振の治療		/	福岡
12		〃		/	福岡
13		悪心・嘔吐の治療		/	福岡
14		〃		/	福岡
15		疲労・倦怠感		/	福岡
16		〃		/	福岡
17		便秘と下痢		/	福岡
18		〃		/	福岡
19		月経異常		/	福岡
20		〃		/	福岡

回数	開講 予定日	テーマ、内容、キーワード 教科書、配布資料	授業日誌	開講日	担当教員 (備考)
21		咳嗽の治療		/	福岡
22		〃		/	福岡
23		腰痛の治療		/	福岡
24		〃		/	福岡
25		冷え性の治療		/	福岡
26		〃		/	福岡
27		実技テスト 証立てをして六十九難取穴		/	福岡
28		〃		/	福岡
29		対人治療 パートナーに四診を行い本治・標治		/	福岡
30		〃		/	福岡